

流紋岩溶岩崖下左側主低木群観察経緯

R7-ryumongan gakesita teiboku kannsatu keii R07.05.27up

グリーンハウス＆森林科学館前 流紋岩溶岩崖下左側の低木群樹木観察

流紋岩溶岩崖下樹木、主に低木樹木を観察しました。此処は「**学習の森**」、「**春夏秋冬**」に魅せる樹木の美しさを勉強したいと取組ました。その経緯について報告します。

詳細は当HPの「近況報告」にお報せしております、以下近況報告のVer情報で経緯説明。

- ① 昨年の観察 Ver118 (R06.12.31up) で、森林科学館前キャンプ場位置から流紋岩溶岩前壁の樹木写真に樹木名を入れ込みたいとの気持ちが沸き起きました。
- ② Ver119 (R07.01.06up) 流紋岩溶岩壁前面の樹木 panorama 写真に樹名を入れ込みました。



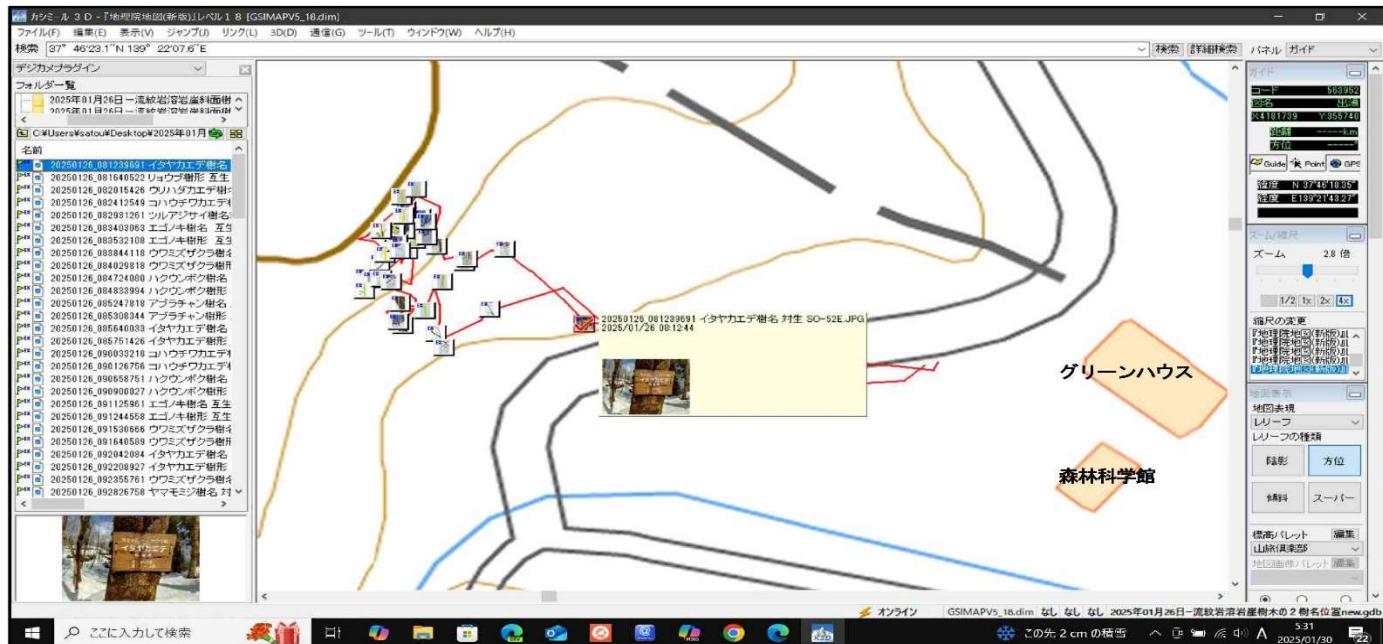
流紋岩溶岩崖樹木の風景 R06.12.28AM1027 撮影 樹木種確認 R07.01.04 指導森林科学館明石浩見館主

写真左からコナラ ホオノキ群立 手前伐採切株カスミザクラ痕 中央イタヤカエデ コナラ ウワミズサクラ 2本 コナラ 右コナラ 2本 右端コナラ大木 2本
※ 中央低木群まとめ (コハウチワカエデ オオヤマザクラ クロモジ ミヤマガマズミ オオカメノキ コシアブラ マンサク ヤマモミジ アブラチャン ハクウンボク等)

その時、新たな素敵な課題が見つかりました。

その課題は、低木群の春夏秋を観察対象とすることに非常に興味が湧きました。

- ③ Ver1.2.1 (R07.01.25up) で、森林科学館明石浩見館主にお願いして、下層低木樹木にテープ巻付け樹木名を記載していただきました。観察準備段階として、樹名、樹形、枝先冬芽の順に撮影しました。
 - ④ Ver1.2.2 (R07.01.31up) で、山旅ロガーを起動して観察樹の概略位置図を作成。観察樹木位置がわかるように、グリーンハウス & 森林科学館との位置関係図作成、観察樹入口に樹名板を取り付けてある「イタヤカエデ」としました。



- ⑤ その後、今冬の積雪が2mを越えてテープも雪下に埋もれて樹木観察ができなくなりました。

⑥ Ver1.2.7 (R07.03.27up) で、冬芽観察報告と広葉樹木の panorama 撮影の樹木位置図 panorama04 表を PDF で、また樹木名を入れ込んだ panorama05 を表に出しました。



- ⑦ Ver1.2.8 (R07.04.11up) で、Excel一覧表で 18 樹種について、樹木名、学名、樹名テープ、樹木の簡易説明、冬芽写真を入れて説明しました。
- ⑧ そして、今回開花状況を入れ込み Excel一覧表としてまとめることができました。
現在の樹木 panorama 写真状況をお見せします。



以上、経緯の説明とします。